

令和元年度 大阪府立茨木支援学校 第3回 学校運営協議会 【議事録】

○日時：令和2年1月29日（水） 10：00～12：00

○場所：本校 校長室

○出席者：

協議会委員：5名

茨木支援学校：校長 准校長 教頭2名 事務長 指導教諭 教務部長 部主事1名

首席兼部主事2名 首席2名 傍聴者：2名（本校保護者）

計19名

○10：00～ 小学部の授業および作品展の見学へ

*はじめに

校長) インフルと水疱瘡が少し流行っている。今後も気を引き締めて進めていく。体罰・暴言暴力については、次第の裏面に記載している研修を行った。PTA 会長にもご講義いただき、保護者の気持ちを改めてお聞きすることができた。今後は「ハラスメント」「アンガーマネジメント」に関する研修を予定している。毎月27日を忘れずに研修を進めている。

准校長) 作品展も感動するものが多い。この後に高等部展示も是非鑑賞を。進路や医ケアについても話したい。

1. 平成31年度 学校経営計画の評価について

校長) 昨年度のものに少し手を加えたが、そのまま進めてきた。自己評価の評価指数については、学校自己診断の指数と紐づけている。人権事象に力を入れたので、平常通りにはなっているものの、教育コンテンツなどは進んでいないところもある。次年度の課題として出していく。正確な評価は年度末に提出する。

准校長) 高等部は来年度に向けて経営計画に揃えていく。まず、進路状況を進路部長より報告させていただく。

進路部長) 現在9割程度進路決定しており、就職希望者は3名全員が内定。そのうち1名は職業基礎コース以外から就職した。その他、就労移行から一般就職に進路変更した生徒が1名。今年度は就労移行より自立訓練希望者が多かった。4年かけて次の進路を考える傾向がみられる。医ケアの進路先が埋まってきている課題がある。呼吸器の利用者は実績のあるところへ希望する傾向がみられる。今後も利用者は続いていくので新規の開拓が必要。地域の福祉との連携を強めながら進路指導を進めている。

委員) 今年度の進路状況は例年と変わらない傾向か？

進路部長) 就職は例年と変わらない。自立訓練が2倍、就労移行が半減。他校も自立訓練が増えている傾向。

校長) 4年ぐらい準備するのが北摂のトレンド。ダイレクトに就職できる子も自立訓練を希望する。大学進学と同じようなタイムスケジュール感覚かもしれない。

准校長) ポッチャの全国大会に出場。ポッチャの選手を増やすために他校との交流試合も計画している。スポーツフェスタにも多数参加。サッカー大会にも出場。音楽交流会も千里金蘭大学教授からの提案で実現した。その他、呼吸器使用生徒の保護者別室待機に向けて進行中。訪問生のスクーリングに関する府の事業もモデルケースを展開し、医ケアの児童生徒の通学支援に伴うタクシー利用と看護師同乗の計画も進んでいる。

委員) 4月から医ケアの通学支援が始まるが、生徒保護者と話していると、マニュアルが整理されたとはいえ、一人ひとり違う対応があると感じている。個別のマニュアルはあるのか？

教頭) 現在、個別対応のマニュアルを整備しているところ。訪問籍の児童生徒に関しても順に整理している。

准校長) 今年度はあくまでもモデリング。学校へ来られるかどうかは課題だった。来年度からは校内支援に向けて整備していく。

校長) 看護師との連絡手段や待機部屋の確保など課題が多く、支援教育課にも伝えているが進んでいない。通学保障に保護者の負担軽減が後付けされたが、現実的には石橋を叩いて渡らなくてはいけない状況。保護者は早く事業を進めてほしいと思うだろうが、他の学校の様子も見ながら進めていきたい。今年度5ケース、次年度は160ケースに増やすのは急すぎると感じている。タクシーや看護師を確保できるのが課題だ。

委員) 話が進んでいても保護者側は理解できていない。文書などでわかりやすく説明がほしい。私は先生方が頑張っているのを知っているが、当事者は知らない。是非「見える化」をしてほしい。府Pも教員の専門性を高めてほしいという希望に対して研修を行っていると聞いているが、見える化でアピールしてくれないと保護者には伝わらない。

校長) 校内研修に関しては、教員の抵抗があるが、保護者も一緒に研修していこうという形を呼びかけている。定着していきたい。

司会) 遅々として進まないところをどのように取り組んでいくか。教員・保護者の立場それぞれを理解して進めていく必要がある。人権に関することは研修ありきだけではなく、教員が常に問題意識を持つ必要がある。ふとしたタイミングで起きることがあるので、日々緊張感をもって取り組む必要がある。

2. 令和2年度 学校経営計画(案)について

校長) 文言は変わっているが、誰に対して発信しているかわかりやすく分類した。

- 1 安心安全な・・・→子供たち 2 保護者が・・・→保護者 3 障がい理解・・・→地域
4 個々の・・・→キャリア教育について 5 教育公務員・・・→教員

今回は分掌長と相談しながら作成していくようにしている。こうすることによってペーパー上ではなく、実効性を高めていきたい。今年度はキャリア教育の部分が弱かったので、ここについてご意見があればお願いしたい。本来なら今日承認いただきたかったが、間に合わなかったので3月にご承認いただきたい。

准校長) 2枚目は生活課程の生徒のことを付け加えている。

委員) 「希望する進路先を選ぶ・・・」について、定着については就職先と本人の相性にもよるが、実際の定着率はどれくらいなのか。

校長) 定着率をあげていこうという取り組みはしている。昨年就職者が1名離職している。知的の生徒の定着率は7割くらい。高等支援の定着率は逆に6割を切る。就職先と合わないというところはあるが、離職してもまた再訓練して就職できるセイフティーネットが必要だ。離職前に相談なく、離職してから学校に報告する生徒もいる。

委員) 職業訓練校は支援学校から入校する生徒は減っている。生徒は卒業しても学校とのつながりを求めている。就業・生活支援センターとの関係が薄く、相談するところは学校になっていることもある。先輩と行事で会った時の情報交換も大事になっているようだ。再訓練については、プライドが邪魔して訓練を受けないこともある。

校長) 高等支援と本校のような学校は少しちがう。茨木から就職する生徒は無理して就職していない。また、自立訓練・就労移行を組み合わせることが北摂の学校の場合多いので定着率はその分高くなっている。

首席) 進路の補足。即就職する生徒は数としては少ない。その生徒はしっかり頑張っている。定着率は私たちとしては高めていきたいと思っている。卒業までに就ポツとのつながりを作っていけるようにしていきたい。卒業して終わりではなくアフターフォロー体制も整えたい。

司会) 子どもにとっての自尊感情はとても大切。生きていだけで価値があるという気持ちをもって社会に出ることが必要。保護者ですらしんどくなることもある。受け入れ先は増えてきていること、教員と一緒に卒業後の受け入れ先を見つけていくということを伝え、卒業していつてもらいたい。人権的な問題も起こったが、職員全体での共通理解をもって進んでいけるようにしてほしい。保護者に対してPTAは頑張っていますよということも伝えていければと思う。年度末、残っている課題もあるが、新しい課題も増えてくる。課題はたくさんあるがしっかり取り組んでいるというアピールも必要だ。

教頭) 福井地区での交流を大事にしている中で、本校と地域との交流の課題や、良い点など指摘していただけるとうれしい。

委員) 「交流」というより「定例」になっている。苗植え、ひまわりフェスタ、福井ふれあい祭り、もちつき、福井小との交流などをしていただいている。形はこのままでいいが、地域として卒業後を視野に入れた支援を

考える必要があるのではと思う。

校長) 例えば公民館実習を受け入れていただいて、植栽や、掃除などを生徒たちが体験できればいいと思う。

委員) 中学生の職場体験のように気軽に実習してもらえたらいいと思う。

校長) 本校から近いところで実習を考えている。ゴウダも候補の一つ。真龍寺のお寺の掃除の実習など、何かヒントをいただければ。

委員) 居住地との交流、知らない人と話す経験もできたらいいと思う。

教頭) 例えば、畑で作った立派な野菜を地域の人とふれあいの場に持っていけたら交流につながるのではないかな。園芸作業を地域交流のひとつにつなげていければ。

委員) ずいぶん前に陶芸で交流したことがある。何か「もの」をきっかけとして交流するのもいいのではと思う。

教頭) 一過性のものでなく、教育課程の中に入れて継続した交流をしていければいいと考えている。

校長) 次年度、地域との交流のやり方をしっかり整理していきたい。

3. 令和元年度 学校教育自己診断アンケートについて

首席) 11月にアンケートを実施し、今年度はマークシートで行った。回収率教員はほぼ100パーセント、保護者は昨年度と同様で70パーセントは達成できなかった。保護者アンケートの肯定率を増加したいところ。

保護者アンケートで肯定率が増加したのは、「12」と「4」の項目。教員と保護者の良い関係性が伺える。肯定率が減少したのは人権に関わる項目。今年度人権事象があり、保護者の人権への意識が高まった結果と思われる。学校経営計画に基づく項目については、「25」「28」の数値が下がっている。今年度は12月に公開授業を行い、指導主事を招いて授業改善に取り組んだ。現在も取り組みの真っ最中。数値はこのような結果になっているが、今後数字は上がると思われる。「23」の項目は、昨年度とは問い方を変更し、意図が伝わりやすくなったことで肯定率は上がっているが、数値としてはまだ低い。安全・安心に関する項目では、ヒヤリハット報告の数字が下がっている。ヒヤリハット報告を積極的にする必要がある。災害対策については、防災の対応マニュアルの改善に取り組んでいる。今年度は「すぐメール」を利用した情報発信に取り組んだ。生徒のアンケートは肯定率の数値が全項目急激に下がった。今年度から回答方法をマークシートに変えたことが影響したのかもしれない。

司会) 生徒アンケートで「先生にはなんでも相談できる」という項目の数字が下がっている意味をしっかりと考えてほしい。原因を追究してそのためにどうしていくか考える必要があるのではないかな。教員の中で問題意識を高めてほしい。

委員) 教員アンケート結果の「5」「11」について、全くそう思わないと答える方が1名いらっしゃるのが残念だ。

4. 意見書について

教頭) 特にいただいておりません。

5. その他 まとめ

司会) 本日の議題は終了です。

教頭) 次年度の協議会の日時につきましては改めてご連絡いたします。

校長) 本日はありがとうございました。次年度も現在の委員の方で継続できればと思います。

【配布資料】 ①次第 ②平成31年度 学校経営計画及び学校評価(案) ③令和2年度 学校経営計画及び学校評価(案) ④令和元年度 学校教育自己診断アンケートについて ⑤令和元年度高等部3年生進路状況